

モニタリング調査結果

種名 : ヒメニラ

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 橋本

調査期間	気づいたこと
2018年3月 ～2018年4月	Aエリアで20個の開花を確認し、Bエリアでも67個の開花を確認して、合計86個の開花を確認するに至った。ここ10年ほど生育が確認できず絶滅したと思っていたが、突然の大量開花によって生育が再確認された。なぜ大量開花になったのかを考察し、観察を続けながら保全に努めたい。
2019年3月 ～2019年4月	Aエリアで21個、Bエリアで55個の開花を確認した。昨年密集して葉を茂らせた塊状の群生は周囲にばらけながら広がっている。冬の間落葉の下で地下茎が生長を続けるので踏みつけないように注意する。
2020年3月 ～2020年4月	Aエリアで10個、Bエリアで75個の開花を確認した。雌性花のみで雄蕊を持った雄性花は見られない。ヒメニラ再発見から3年目になるが、密集して生育していた状態から、周囲にばらけながら広がり生育面積は2.5倍に拡大した。冬季に落葉の下で地下茎を伸ばすため踏み付けに注意し、落葉の量にも注視している。
2021年3月 ～2021年4月	Aエリアで35個、Bエリアで25個の開花を確認した。Aエリアは葉数は少ないが花数は激増。Bエリアの生育面積は広がり葉数は増えたが花数は激減。日照不足か。
2022年3月 ～2022年4月	開花数を3月24日に数えた。Aエリアで5個、Bエリアで1個の開花を確認した。両方とも昨年より開花数が減った。
2023年3月 ～2023年5月	開花数を3月21日に数えた。Aエリアは葉は多数あったが花は0本だった。Bエリアは10本の花を確認した。B地区では昨年より開花数が増えた。
2024年3月 ～2024年4月	3月28日に開花数を確認した。13本確認。A区：0、葉が激減。B区：13、従来のエリアの周辺にも広がっている。
2025年3月 ～2025年4月	3月27日に開花数を確認し、7本確認。A区0本、A区は葉が昨年以上に激減。B区7本、B区は北東側に分布を移動しており、移動した先で花を付けている。